

平成29年度新居浜市立図書館協議会 記録

- 1 日時：平成30年3月13日（火）15時30分から16時30分
- 2 場所：新居浜市立別子銅山記念図書館 多目的ホール
- 3 出席委員：星川会長、内田副会長、渡部委員、大塚委員、羽倉委員、玉井委員、吉村委員、山内委員、濱田委員
- 4 欠席委員：土岐委員、岡田委員、加藤委員
- 5 事務局：横井館長、和田主幹、久葉係長、杉田係長
- 6 傍聴者：0名
- 7 会議概要

(1)平成29年度事業について

(杉田係長) 平成28年度事業報告説明

別紙資料により説明

(2)読書との出会い提供事業について

(久葉係長) 別紙資料により説明

(3)平成30年度の事業実施について

(杉田係長) 別紙資料により説明

(4) 図書館整備事業について

(和田主幹) 築25年が過ぎ建物を順次修繕している状況、来年度は電気関係の工事とコンクリート壁の工事の予定がある。

(館長) 読書との出会い提供事業に関し、先日文科省での発表では、子ども食堂等でのアウトリーチ型の取組は他自治体からも参考にしたいという意見があったということを示し添える。

(会長) 学校でもコミュニティスクールへの移行にあたり地域との連携や読書の啓発へのパラダイムの変換の時期にある。このような事業をきっかけに推進していけたらと思う。

アンケートについて概ね肯定的な意見が出ている。視聴覚資料の充実の満足度が少し低いようだがどうか。

(杉田) 図書も含めた資料費の中で購入しているので限りはあるが、今後朗読資料などバリアフリーに力を入れていきたいと考えている。

(館長) 総予算が限られていて、DVDなどの資料は図書館での使用は著作権法があり、高価であることから苦慮している。雑誌に関していえば雑誌スポンサーの協力もあり、170種余り所蔵している。民間会社経営のある図書館では、30種しかなかった。当館での反省でいえば、先日見学した図書館では拡大読書機が中心にあった。当館ではわかりにくいところにあるため利用しにくい点を改善すべきと思っている。

(会長) 乳幼児連れの環境が充実できることを願っている。

(濱田委員) 公共施設を利用するために静かにすると公共マナーを守る気持ちは子どもたちにも生まれてきているのではないかと。多少の騒がしさはあるが、将来のマナーを覚えて行けるよう見守るべきではないか。

(副会長) ブックスタート以降の親子の定着率はどれくらいか。

(杉田) 定着率の数値はわからないが、ブックスタートでは赤ちゃんのカード発行もし、図書館の利用もよびかけている。また乳幼児向けのお話会の案内もしているので、そちらから図書館の利用にもつながっているようだ。

(山内委員) 子育ては5か月くらいが離乳食開始などで、忙しい時期であるが、そこから絵本へとつないでいってくれたらと考える。

(副会長) 子ども食堂でのお話会などは30年度計画にはないが今後はどうか

(久葉) 出前講座の依頼があれば実施する。

(館長) 読書通帳マラソン、2回行ったが、今年度は参加者が減っている。また、高学年や中学生の参加は非常に少ない。いいアイデアはないか。

(渡部委員) 中学校では部活動が忙しく、認知が低いのが現実だ。

(会長) 意欲が湧くよう周知が必要なようだ。

(濱田委員) 小学生の読書団体の指導しているが、高学年などは冷めている面がある。小学校は学校での記録もしているので、読書通帳への記録もしていたら少し大変な面もある。それでも頑張るといふ意欲がある子もいるが、「夏休み後に学校にも提出できるよ」ということができればもっと増えるのではないか。

(渡部委員) 中学校でも読書記録はとっており、多読賞というものもある。朝読にも取り組んでいるので中学生は純粋に読んだ本というのはもっとあると思う。知らないので参加できないという要因が多いのではないだろうか。

(会長) 今後図書館での課題にしてほしい。

(濱田委員) 団体貸出では協力いただいてありがたい。

(大塚委員) 小学校では、学校司書に本の準備など協力していただき授業に役立っている。

(玉井委員) 読書会ではテーマの本を図書館で借りて会員で順番に読んでいるが、団体で借りた本の延長に困る時がある。

(杉田) 複本で対応とか要望に応えられるようにはしていきたい

(羽倉委員) 高校では生徒の活字離れはあり苦慮している。小論文対策として1年生から新書などを読ませようとしている。各人の希望進路により専門的な内容のものが必要な場合は市立図書館に行かせて利用させている。

(副会長) 自分に関していえば子ども時代から本が大好きで図書館や本が身近な存在だった。多くの新居浜市民に本の楽しさや図書館の楽しさをみんなに知ってもらえたらと願う。